

【資料1】

「新たな不登校を生まない教員の関わりについて調査研究」事前アンケート

名前()

教員歴(年目) 記入月日(月 日)

● 今年度の担当について、該当する□すべてに「レ」を記入してください。

□学級担任(年 組) □特別支援学級担任(年) □専科・少人数担当

□養護教諭 □通級教室担当 □その他()

● 該当する□に「レ」を記入し、指示に従って進んでください。

1. 現在の困りごとについてお答えください。

・現在、学校全般での指導・支援での悩みはありますか? □ない→次の設問へ □ある↓

例、指導・支援が効果的だと感じないことがある。クラスが(特定の子が)ガチャガチャしている。
今の支援のやり方でいいのかはっきりしない。不登校や発達障害などの指導方法がいまいちわからない。

・不登校に関わらず、今年度担当する学級に気になる児童はいますか?

□いない→設問2へ □いる↓(特に気になる児童、数人の様子を書いてください。)

名前	どのような面が気になるか	どれか一つに○		
		1 少し 気になる	2 かなり 気になる	3 非常に 気になる
		1	2	3
		1	2	3
		1	2	3
		1	2	3

2. これまでの不登校対応の経験について教えてください。

・これまでの教員歴で不登校対応を経験しましたか? □ない→次の設問へ □ある↓

・どのような立場でどんな経験をされましたか?

立場	内容

裏面へ続く

・これまでの経験で、不登校対応についてわかったことや学んだことはありますか？

ある方はそれはどんなことか教えてください。

3. これからも教員を続けていくために、特に知りたいなど思うことがありますか？

特にない→設問4へ ある↓ それはどんなことですか？

例、ICT、教科指導方法、児童理解、保護者対応、特別支援や個別支援など

4. 様々な実践や着目点などについて、ご自身の意識にもっとも近いと思うもの一つに○をつけてください。

		当てはまらない	あまり当てはまらない	やや当てはまる	当てはまる
(1)	不登校支援やその予防について、ある程度理解している。	1	2	3	4
(2)	児童の課題やニーズを理解し、個別の支援を行うことについて、ある程度理解している。	1	2	3	4
(3)	学習意欲を高め、わかりやすい授業づくりについて、ある程度理解している。	1	2	3	4
(4)	学校・学級規律を定着させる方法について、ある程度理解している。	1	2	3	4
(5)	日々の授業や行事等において、個々に活躍できる場面を作ることについて、ある程度理解している。	1	2	3	4
(6)	いじめや児童同士のけんかなどのトラブル時の介入方法について、ある程度理解している	1	2	3	4
(7)	保護者対応の方法について、ある程度理解している。	1	2	3	4
(8)	日頃から他の教員の実践にも着目し、連携協働を心がけている。	1	2	3	4
(9)	教師として自分の得意分野や専門性を理解し、伸ばそうとしている。	1	2	3	4

文部科学省(2021)教師に求められる資質能力の再整理 等を参考に筆者加筆

その他、書き切れなかったことなどありましたら・・・

ご協力ありがとうございました。

【資料2】

この度は、インタビュー調査へのご協力、ありがとうございます。

この調査は「新たな不登校を生まない教員の関わりについて」をテーマに取り組んでいる研究のために行っています。ご協力いただける方は、下記の確認欄にチェックとご署名をお願いいたします。

調査から得られたデータは、研究以外の目的に使用することは決してありません。全て厳重な管理のもとで分析されます。個人情報の保護に最大限の配慮をいたしますので、ご協力いただいた方にご迷惑をおかけすることは決してありません。

調査への協力は強制ではありませんので、途中で止めることもできます。調査に協力しないことによる不利益は一切ありません。

【確認欄】この調査の趣旨を理解し、協力します。□

(日付: 年 月 日)

ご署名:

下記の事項について、差支えのない範囲で、お答えください。

- ・性別（男・女・その他）
- ・年齢(記入時現在)（ ）歳
- ・教員歴(今年度を含めて)（ ）年

【資料3】

みなさんに知っておいてもらいたいこと

一次的援助サービス

- 生徒指導の基本は**ガイダンス&カウンセリング（サポート）**と言われている。
- **ガイダンス**とは、不慣れで事情のわからない者に対して、初歩的な説明をすること。案内。手引き。また、そのための催し。どちらかというと集団
- **カウンセリング**とは、個人のもつ悩みや不安などの心理的問題について話し合い、解決のために援助・助言を与えること。どちらかという個人
- 全ての支援に際し、個々の教員の得意な分野を活かしながら、受け取る側の**児童に伝わりやすい方法**を意識し、最終的にはその**児童が何を達成できるか？そのために何ができるか？**という発想



みなさんに知っておいてもらいたいこと

ガイダンスについて

- **ガイダンス**とは、不慣れで事情のわからない者に対して、初歩的な説明をすること。案内。手引き。また、そのための催し。どちらかというと**集団**



獲得すべきことは学校教育においては学年ごとに決まっている。しかし、児童一人一人がその内容を学ぶためのレディネス（準備）があるかというところではない。教科で言うと、赤本はその時間でやるべき内容などが網羅されているので、上から目線で教え込むならそのままやればよい。しかし赤本のみで教えてもクラスの相当数は理解不能。習得してるはずだが実際には習得できていない内容を織り交ぜ復習しながら、達成すべき内容を少しでも獲得させていくようにする。

みなさんに知っておいてもらいたいこと

カウンセリング（サポート）について

- **カウンセリング**とは、個人のもつ悩みや不安などの心理的問題について話し合い、解決のために援助・助言を与えること。どちらかという**個人**



- 前シートで説明したように、ガイダンスが対象児童を全て網羅できるように丁寧かつ迅速なものとなっているなら、カウンセリングはあまり必要がないはず。しかし実際は必ず集団から漏れ落ちる子は多数いる

【資料4】

〇〇小学校 □□先生へ

先日は授業観察をさせていただき、また、お忙しい中、気になる児童の情報共有もしていただき、ありがとうございました。

お話を伺った中で、いくつかご提案を考えてみました。先生方の困りのニーズに合っているかわかりませんが、もし、詳細を知りたいな、取り組んでみたいなと思われましたら、いつでもお声かけください。教材の準備等もお手伝いさせていただきます。

また、気になるお子さまへの個別の対応については、先日お話いただいたことを踏まえて、これからも少しずつ様子を見ながら、一緒に考えていけたらと思いますので、またいつでもご相談ください。

教員サポート研修員

PBIS (ポジティブな行動介入と支援)のご提案

子ども達はエネルギーがあり、「認めて!」「ほめて!」という気持ちがあふれているようでしたので、それをうまく活用できたらと思い、このPBIS (ポジティブな行動介入と支援)の取組をご提案します。

PBISは、

1. 「ステキな行動チャート」の作成
 2. ステキな行動を引き出す
- という手順で進めていきます。

PBIS実践の手順

1. 「ステキな行動チャート」の作成

どのような行動が望ましいのかを明確に示すことから始まります。「しっかり聞きましょう」や「〇〇はだめ」ではなく、どういう行動が良いのか子ども達と一緒に考え、共有することが大事です。まず先生が大切にしたい行動を3つほど示し、子ども達にも大切な行動を考えてもらい、「ステキな行動チャート」を作成します。

☆それぞれの教室の学級目標などをもとに、具体的な行動を示すことで、パワーアップできるのではないかなと考えました。まずはここだけ活用してもらってもいいかなと思います。

トラブル解決のおきて

アルス AL'Sの法則

A_{gree}
(アグリー)

同意する

話し合いのルールを守る

- ①正直に自分の気持ちを話す
- ②しっかりと相手の話を聞く
- ③相手の言葉を決してさえぎらない

L_{isten}
(リッスン)

聞く

相手の話をしっかり聞く



S_{olve}
(ソルブ)

解決する

お互い解決しようと努力する

「これで一件落着！友達同士のケンカ解決には・・・」

アルス

『AL'Sの法則』のご提案

日々子ども達同士のケンカや揉め事の中には、指導が必要なことももちろんありますが、トラブルを解決するというのはお互いの納得が第一です。指導者ではなく、仲介者として話し合いを進めることで、「平等に聞いてもらった」「自分の言い分が言えた」「すっきり解決した」と子ども達を感じることができ、話し合いで解決することの良さに気づいていきます。子ども達自身を仲介者として育てることも目標になりますが、まずは先生が仲介者としてのスキルを身につけておくと、役立ちますよ。

